

(2) 国立教育会館社会教育研修所社会教育主事講習

- ① 主催 国立教育会館社会教育研修所  
 ② 期 日 A講習 平成10年5月11日(月)～6月17日(木)  
 B講習 平成10年9月7日(月)～10月16日(金)  
 C講習 平成11年1月18日(月)～2月25日(木)  
 ③ 受講者数 A講習 0名  
 B講習 1名  
 C講習 2名  
 ④ 修了者名

講習名	氏名	勤務先
B講習	石橋 広	福島市教育委員会
C講習	鈴木 隆	長沼町公民館
	二階堂 恵一	二本松市教育委員会

(3) 国立教育会館社会教育研修所専門講座

講座名	期 間	受講者数
社会教育主事アドバンス・セミナー	10. 7/22～7/24	1名
ボランティア活動推進セミナー	10. 7/27～7/31	2名
生涯学習推進セミナー	10.11/30～12/ 4	3名
生涯学習機関等の連携に関する研究協議会	10.11/ 4～11/ 6	1名
学習相談・情報提供専門講座	10.11/16～11/20	1名
社会教育施設経営セミナー	11. 3/ 1～3/ 5	2名
公民館職員専門講座	11. 3/ 8～3/12	2名
学習プログラム専門講座	11. 3/15～3/19	6名

(4) 国立教育会館社会教育研修所「移動講座」

「生涯学習セミナー」(福井県)

- ① 期 日 平成10年11月25日(木)～27日(金)  
 ② 会 場 福井県生活学習館「ユウ・アイふくい」  
 ③ 受講者数 2名

13 出版資料

資料名	部 門	規格	頁数	発行部数
生涯学習課事業概要	行 政	A 4	85	1,000
県社会教育統計要覧	〃	B 5	140	740
広報誌「生涯学習ふくしま」年3回	生涯学習	A 4	4	10,000
“うつくしま、ふくしま。”ふれあいボランティア推進事業報告	〃	A 4	45	600
機関紙「社会教育」年3回	社会教育	A 4	13	7,950
すこやかな成長をねがって—すくすく4、5歳—	家庭教育	A 5	16	23,000
P T A指導者研修資料「みんなのP T A」	成人教育	A 4	49	2,500
男女がいきいきと生きる社会づくりのために	婦人教育	A 4	70	500
福島県高齢者人材名簿	高 齢 者 教 育	B 5	40	560

資料名	部 門	規格	頁数	発行部数
ハートウォームプラン 青少年自然体験活動推進事業 「たくましく生きる少年のつどい」	青 少 年 教 育	A 4	66	400
「チャレンジ・生き生き親子のつどい」	青 少 年 教 育	A 4	56	400
ふくしま・教育メディア インフォメーション	視 聴 覚	A 4	4	1,000
青少年の地域社会創生事業 「かがやく目・はずむ心」 「夢冒険キャンプ」	青 少 年 教 育	A 4 A 4	71 45	400 400
八溝F I Tジャンボリー	青 少 年 教 育	A 4	36	400
学校外活動ガイドブック 「県中版」 「県南版」 「会津版」	青 少 年 教 育	A 4 A 4 A 4	53 47 53	500 1,200 500

第2節 青少年教育

概 要

青少年はきたるべき21世紀の日本や国際社会の担い手であり、活力ある未来を創造しさまざまな分野で活躍していく主人公である。

いま青少年には、めまぐるしく変わる社会の変化を、自分の目で、自分の身体を通してとらえ順応していくことや、身の回りのことを自分で考え、自分で判断し、自分の力で解決していくことができる能力、いわゆる「生きる力」が求められている。

このため、これらに対応した多様な学習機会の拡充を始めとして、社会参加活動の促進、団体の育成、指導者の養成などにより、青少年教育の充実・振興を通して課題の解決に努めてきた。

特に、少年教育では、学校週5日制対応事業の充実および市町村における学校外活動の普及と奨励に努めてきた。また、福島・茨城・栃木、3県の青少年が八溝山に集い、八溝F I Tジャンボリーを実施し、広域交流を図る中で、少年の主体性や創造性の涵養に努めた。

青年教育では、仲間づくりや地域おこしを核とする学習機会の提供やグループの連携・協力を支援するための県や国段階の交流・交歓等の研修機会の充実に努めてきた。

今後は、さらに、家庭、学校、地域社会の連携・融合を深め、それぞれの教育機能の充実を図ることによって、主体性を持ち心豊かでたくましい青少年の育成に努めていきたい。

1 学ぶ青年全国集会兼学ぶ青年福島県集会

(1) 期日・場所

平成10年10月17日～19日

国立磐梯青年の家

(2) 対象と参加者数

青年(学習活動参加者、各種団体・サークル員、地域活動参加者)、青年活動指導者、市町村担当者(部局・教